



十四山西部小学校 第2学年

平成29年10月17日(火)



## あそぼう会、大成功！！

10月6日金曜日、生活科の「つくってあそぼう」の学習のまとめとして、1年生を招待し、あそぼう会を開きました。2学期の始め、まずは自分の作りたいおもちゃに必要な材料や作り方を考え、設計図を描きました。保護者の皆様に力を貸していただきながら、材料を集め、自分の作りたいおもちゃを完成させました。その後、同じおもちゃを作った友達とグループを作りました。グループの友達と、ルールや遊び方、係決めや景品は何にするかを話し合いながら、進めました。

同時に学級全体でもどんな会にしていくか話し合いを進めました。昨年、自分たちがしてもらったことを思い出しながら、自分たちのアイデアに取り入れようと声かけをしたところ、「それぞれのコーナーを回ると、シールがもらえて、たくさん回ると、シールがいっぱいになるのはどう？」という意見が出ました。クラス全員がその意見に「それ、いいね」と拍手！1年生が全部のおもちゃコーナーを回ってくれることで、一生懸命に作ったおもちゃだから、たくさんの人に遊んでほしいという子どもたちの願いも同時にかなえられる素晴らしい意見でした。

決まってからの子どもたちの行動力にも驚かされました。翌日には「このシールを貼ってあげたい」とシールを持ってきた子。休み時間や下校後にも景品作りに精を出した子。時にぶつかることもあったけれど、一つの目標に向かって、一致団結したときの2年生の力の大きさと強さを感じました。

また、事前に自分たちでお店屋さんとお客さんに分かれて練習したことで、今まで気付かなかったことに自分たちで気付き、本番までにルールの変更や遊び方の表示の仕方など、修正することができました。グループの人数が少なく、景品作りが大変だったグループがありましたが、他のグループや保護者の皆様の協力を得て、何とか本番を迎えることができました。



しゃてき



糸でんわ



魚つり



ウイングカー



わなげ



がっき



ボウリング



ふね

当日は、1年生の子を教室まで迎えに行きました。これも話し合いで出た意見で、当日まで内緒にして1年生を驚かせようということになっていました。何も知らなかった1年生は何が始まるんだろうという顔をしていました。



あそぼう会のおもちゃコーナーの説明をした後、1年生にそれぞれのコーナーを回ってもらいました。どのコーナーも大盛況で、たくさん人が並んだときの対応も、事前に練習したときのことが活かされていました。

1年生の子を楽しませようとする姿、優しい言葉遣いで話しかける姿、2年生のみんなはしっかりとお兄さん、お姉さんの顔をしていました。



日頃、お世話になっている先生方も、遊びに来てくださり、子どもたちも嬉しそうでした。



さいごのまとめの時間には、昨年度の担任の宇佐美先生から「みんなの1年の成長を感じたよ。準備大変だったでしょ。そのおかげで、1年生も先生も楽しませてもらったよ、ありがとう」の言葉をいただき、自分たちの力でやり遂げた充実感に満ちた表情をしていました。



2年生は今回の学習で、工夫して何かを作り出すこと、相手のことを思って考え、実行すること、みんなで協力し、そうすれば大きなことが成し遂げられること、みんなで一つのことをやり遂げる楽しさを学んだと思います。今後、野菜作りでお世話になった加賀さんへのお礼の会や、学習発表会など、まだまだ力を合わせて乗り越えていく行事がたくさんあります。子どもたちの願いを受け止め、身につけさせてあげたい力は何かを考えながら、私も全力で子どもたちをサポートしていきたいと改めて感じる学習となりました。

たくさんのご協力、ご支援をいただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。